広報伊方町

発行人 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 伊方町総務課
印刷所 南予民報社印刷部 電話保内局276番

特集

伊方中増改築

総事業費1,000万円を予定

財源の一部に町民の寄付を期待

ことしの大きな事業の一つとしていま伊方中学校増改築の計画が着々とすすめられている。この事業は町財政のつごうから、財源の一部を町民の寄付金に期待している。たくさんの赤字をかかえ、財政再建への再出発を旗しるしとする三十五年度に、なぜ財源を寄付にもとめてまで、伊方中増改築を計画し実施しようとしているのかそのいきさつと構想のあらましを特集した。

伊方中学校は、現在普通教室十二（うち危険校舎五）のほか特別教室として理科室、工作室（以上いずれも危険校舎）音楽室、家庭室などがある。ところが、生徒数の自然増により学級数は次のように年々ふえるのである。

【学級数のふえぐあい】

	一年	二年	三年	計
35年度	五	四	三	十二
36年度	五	五	四	十四
37年度	五	五	五	十五

伊方中学校が、西宇和郡下で一番大きな学校―ただし生徒数について―であるとは、伊方町民にも案外知らない人が多いのではないだろうか。

生徒数は郡下一

こころみに、郡下十五中学校の内生徒数の多いものから五校を選んで、生徒数と学級数をかかげてみよう。

		学級	生徒数
(1)	伊方	一二学級	六〇五人
(2)	三瓶	一一学級	四九九人
(3)	川之石	一一学級	四八八人
(4)	町見	八学級	三七二人
(5)	神松名	八学級	三四六人

昭35・4・1現在

教室が足りないのは、伊方中学だけではない。郡下の中学校は、教室の不足はもちろんのこと、特別教室をなくすことは、ぜったいにできないことである。

中学は、義務教育のしあげであり社会人としての、ひとりの技術教育をしておかねばならない。

特別教室をなくすことは、ぜったいにできないことである。

あとは全部普通教室にしてしまわねばならないことになる。

ねばならないことになる。

構想のあらまし

伊方中増改築の計画は、まだ最終決定はしていない。しかしいまの段階での構想は図のとおりである。危険校舎二むねと教員住宅一戸をとりこわし北校舎、南校舎を木造で新築、東校舎は旧畜産事務所の牛舎を移転改築する。北校舎を建てる位置は、約一メートル五〇運動場より高くなっているので、この分の土を切りとって、北校舎を三階建てにする。切りとった土は、運動場のつづきの田に埋めて、運動場をひろげる。これで、危険校舎の問題はなくなり、普通教室は三教室ふえて三十七年度のピークを迎えても教室は不足しなくなり、理科室が一教室だったのが二教室になり、技術工作室は、約三倍の広さになる。運動場の拡張は、危険校舎のとりこわしによって約三五〇坪、田の埋め立てによって約五〇〇坪ふえるので、いまでの二倍近くにひろがるわけである。

鉄筋には手が出ず

問題点を最低線で解決

この財源としては、危険校舎改築に対する国の補助金を約百三十万円と、起債を五百万円申請中で残りは三百七十万円になるが、ことしの財政状態からして、町の一般財源の振り当ては二百万円程度が限度であるからこれを一応二百二十万円として、残る百五十万円はどうしても、町民の方や町外有志の方たちの寄付に期待するほかないというのが現状である。

将来のことを考えれば、もちろん鉄筋コンクリート建築が理想だが財政的にとても手が出ない。年々危険の度を加える老朽舎の問題、生徒数の自然増による教室不足の問題、技術家庭課程強化の問題、運動場拡張の問題、これらの問題を最低の線で解決しようとしているのが、ことしの伊方中増改築事業なのである。これでも、町財政にとっては、非常に危険な綱渡りである。国の補助は、何とか確保できるとしても、起債の五百万円を満度に許可される見込みはうすい。これに寄付金が期待どおりなかったとしたら、財政再建はまた、もとのもくあみにもなりかねないのである。

この事業費は、まだ正確な数字はわからないが、概算一千万円ぐらいになるのではないかと考えられている。

オオカミとヤギ

ヤギが、がけの上で草を食べていると、オオカミが、下から

「ヤギさん、気をつけなさい。落ちると首の骨を折りますよ、それよりも下におりてきて、青々としたおいしい草を食べませんか。」

と、誘いました。

しかし、ヤギはその手にのらないで

「いらないお世話は、けっこうです。あなたのほんとうの御用は、わたしを食べたいのでしょう。わたしはそんなことはいやですから」

と、云ってがけの下へおりませんでした。

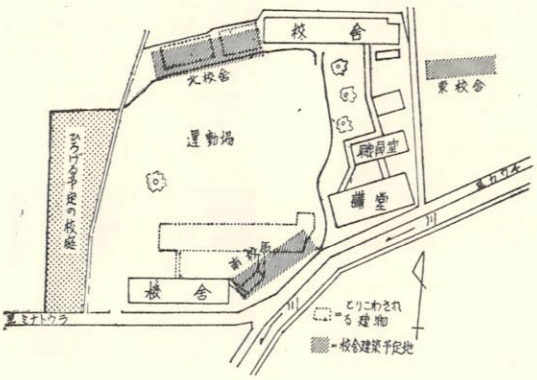
皆さんも、ヤギのように、ミセカケだけ親切なオオカミに気をつけてください。

選挙のまぎわだけ親切にしたりできもしない公約を並べて、皆さんの票をねらう候補者に、だまされて投票すると、わたくしたちのたいせつな民主政治や、わたくしたちまで食べられてしまいます。

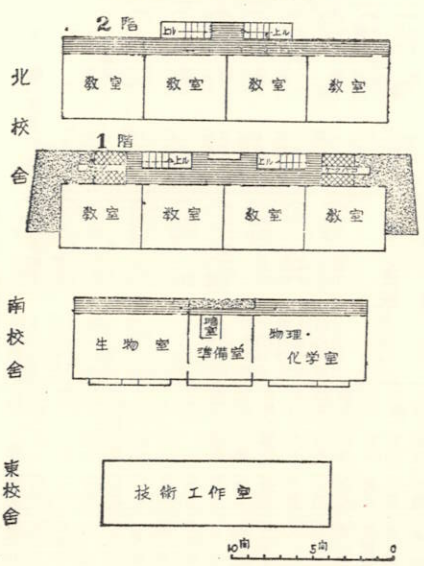
8月の税金

町民税
保険税
納税は
8月末日までに

増改築構想位置図



新校舎間取り計画図



国民年金問答

価幣価値 生活水準 に応じてかわる年金額

掛金＝5年ごとに再計算

甲　私は、保険が大きらいなんです。郵便局の簡易保険も、農協の生命共済にもぜったいに入らない方針です。ところがこんどの国民年金は、政府が強制的にいれてしまうというんですから、こればむちゃですよ。

乙　どうしてまたそんなに保険きらいになったんですか。

甲　まあ考えてみてもください。「これだけ保険に入っていれば、としをとってから楽になる」というわけで、若いとき苦労して、掛金を払ってきたものが保険金をもらってみれば一カ月のタバコ代ぐらいにしかならない。これでは保険がすきになれるわけはないでしょう。

乙　戦前の保険に入っていた人は、みんなその苦い経験を持っています。これはいうまでもなく、戦後のインフレという、経済変動があったためです。ところが、この国民年金が、特に民間保険や、一般預金と区別されている特長に、「経済変動があった場合には、これに応じて年金額が調整される」ということがあるのです。これは、法律によって、はっきりときめられていて、今後万一インフレなどが起った場合でも、そのときの貨幣価値に応じた年金額が受けられるという訳です。

甲　なるほど、それなら、掛金を安心して積みたてることができますね。そこでその掛金ですが、これは三十四才以下は百円、三十五才以上は百五十円と法律できめられていますが、この方もやはり、貨幣価値の変動に伴なって、かわってくるのですか。

乙　いや、掛金の方は少し違います。将来の予想される国民年金の財政が均衡を保てるよう少なくとも五年ごとに再計算されることになっています。

甲　そうすると、今は、百円だ、百五十円だと云ってますけれど、平均寿命が伸びるとか、して、被保険者に払う年金の額が、最初の予想より多くなることが予想されれば、掛金は、あがる訳ですね。

乙　まあそういうことですが、そうした面については、相当検討されていますし、それよりも国民の生活水準があがることによって、年金額が引きあげられる。それによって掛金もあがるこのことの方がむしろ多いかも知れませんよ。

甲　いま国民の生活水準があがると年金額もあがるといわれましたが、やはりいまの年金額は、一応国民の生活費を基準にしているのですか。

乙　二十才の人が四十年間掛金を納めて、老令年金の額が四万二千円、月額になおすと、三千五百円です。

これを割り出したのは、ぜいたくをすれば別だが、老人一人が質素に暮した場合どのくらい生活費がいるかを調べてみると、だいたい四千円ぐらいになります。これから家族との共通経費を除くと、約三千五百円、これで質素な生活ならなんとかやっていけるのではないか、ということなのです。

夏を元気に……

栄養をとり暑さと疲労で

夏は、かぜの季節ともいわれますが、そこから結核になる人もかなりあります。そして、夏ばてとか、元気になると、どうしてもかぜをひきます。

夏になると、どうしてもかぜをひきやすくなります。これは暑さのためです。人間が、かるい仕事をする時に、体温が37度、重い仕事をすると、体温が38度、八度かの上昇。体温が高くなると、体内の酸素の消費量が多くなります。

ビタミンB群の欠乏

かぜの原因に、ビタミンBの欠乏が「夏ばて」にもあります。これは、ビタミンB群が不足すると、ビタミンの栄養分に、ビタミンが十分になっています。それに反して、このような時になると、食品中のビタミンはこわれやすく、同時に栄養え、生水、ナマものなどによって胃腸をこわす機会が多くなり、消化管のビタミン吸収率は低くなります。

「疲れやすい」
「目が重くて、力が入らない」
「目がはったり、筋肉がいたむ」
「指先や口のまわりがしびれる」
「ふくらはぎをつかむといたい」

といったような症状は、ビタミンB群欠乏の徴候です。夏はまた四月から体温の調節が十分に行なわれません。これも高温多湿が原因です。

こんな時の対策

そこで夏をどんなようにして、切り抜けるかというと、

栄養と休息が第一

です。栄養は、何より体をつくるもとです。あるいは、食欲にはタンパク質、脂肪が必要としたいろいろな食品をとることです。これは、まず食べることが出たらすぐ食べることです。

たとえ食べたくないときでも、食べ物がいたみやすいときですから、変なものを食べないようにしたいものです。

伝染病にも…

急性伝染病も多くなるときです。赤痢、腸炎には、おそろしい病気です。こんなんは、初めて、結核菌便にブクが出ることがあり、しかも下痢腸が痛みしびれて、時には熱もでます。これは完全な栄養ですことに対処の対策は、緊急的で、家の的確地が多いので、ような方法を知ったら、すぐ医者にかかるようにしたいものです。これまでは、どうしてもかんたんに、安静に対処されていません。

これも高温多湿が原因です。

ものしり一家

つづき蚊

タバコは
町内で買いましょう

ぼくらの作品

詩

雨ふり

有寿来小五年　兵頭　大市（伊方邑）

雨がふっている。
ぼくは新聞ぐばりだ。
かっぱをきて　長ぐつをはいて
新聞をしっかりとわきにはさむ
雨がかっぱにたたきつけてくる。
ザアー、ザアー、ザアー
中の新聞をぬらすまいと
雨はふりつづく。

おきの島

有寿来小五年　菊池　彰（伊方邑）

長浜のさきが見える。
えんとうも見える。
海には船が通っている。
その向こうの島も見える。
またまたほかの島もある。
ぼくは　長浜へ行きたい。
そこには　どんな町が
あるのだろう。

習字

有寿来小5年
大沼政恵
（亀浦）

有寿来小5年
蒲田邦夫
（亀浦）

町の日誌

5月13日　議長　副議長など改選――ひと月遅れの四月定例議会が招集された。伊方中学校改築など五つの議案を可決したあと　中田議長の辞任にともない　議長に重岡太守氏（前副議長）副議長に阿部森兼氏（前建設委員長）を選んだ。

議長重岡太守氏

副議長阿部森兼氏

続いて常任委員会の改組を行ない新常任委員長は次のとおりとなつた。総務―井上常久，厚生―井上吉佐太，建設―中田弥，産業―山口雅雄　敬称略

6月15日　伊方でも安保抗議集会――全国的に最大の統一行動がくりひろげられたこの日，伊方でも，学校，役場農協，郵便局などの職員や青年団員など約200人が，午後5時役場の二階に集まり安保強行採決抗議集会を開いた。

7月4日　町見地区青少年問題協議会ろされる――町見地区小中三校長が世話人となり　町見地区青少年問題協議会が発足した。会長に井桜政勇氏，副会長に[illegible]氏を選び当面には，二ヶ所長および学校の補導主任，青年団，婦人会，消防団の役員それぞれ[illegible]委員があたることになつた。この会は主に小中学生を対象に活動することにし当面の問題としては，水難防止に強点をおく方針とのこと。

7月7日　家族計画普及大会――午後1時から伊方小学校講堂で家族計画普及大会を開いた。講師として，最近の受胎調節について八幡浜保健所長小糸賢太郎氏から，受胎調節の地区組織活動について宇和島保健所普及課の稲葉峰雄氏から，幼児のしつけについて中央児童相談所の関亭道氏からそれぞれきいたあと，中田，稲月，福田，櫻尾の各助産婦さんから受胎調節指導員として現況報告があり，川永田畑中タマエさん，九町田村ナカエさん加周平井チヨ子さんの3人の体験発表で幕をとじた。

この大会は町内では始めての試みとのこと。

国保からほんちょうちん

昭和35年6月1日現在
世帯数 2,595
人口12,574（男6,197 女6,377）

人

婚姻（五月届分）

出生（五月届分）

死亡（五月届分）

葬祭費は現在一千円であるが千五百円程度に引き上げ，千円は今までとおり現金支給とし，別にほんちょうちんを一箱購入して，死亡者のあった世帯へ贈ることにすれば生活改善運動の一助ともなり，国保の普及宣伝にも大いに意義あるものと考えるので，財政事情が許せば，葬祭費を増額するよう強く望みます。

△　▽

人数は，九十から百人の見込みです。

△　▽

そこで町ではこの問題をさらにさぐるあげ，ことしから実施することにしました。

ところがこれは国保の被保険者だけに限られるので，どうしてもこの対象が全部に成功するためには，国保の被保険者でない人，町外居住者で，とうとう本部しようとしている人たちの協力がのぞまれています。

ことしのほんちょうちんは，去年の八月十六日以降になくなった人（死亡の当時国保の被保険者であった人）に限られます。

△　▽

婦人会には，以前から結核撲滅の運動をしました。

ひとりとしておほんの「とうろう」をかかげて「ちょうちん」にしようと呼びかけていた。

ことし三月十四日に開かれた国保運営協議会（当時の会長山口雅雄）で，町に対して次のような，趣旨がなされた。

△　▽

そこで町ではこの問題をさらにさぐるあげ，ことしから実施することにしました。

ところがこれは国保の被保険者だけに限られるので，どうしてもこの対象が全部に成功するためには，国保の被保険者でない人，町外居住者で，とうとう本部しようとしている人たちの協力がのぞまれています。

ことしのほんちょうちんは，去年の八月十六日以降になくなった人（死亡の当時国保の被保険者であった人）に限られます。人数は，九十から百人の見込みです。

葬祭費は現在一千円であるが千五百円程度に引き上げ，千円は今までとおり現金支給とし，別にほんちょうちんを一箱購入して，死亡者のあった世帯へ贈ることにすれば生活改善運動の一助ともなり，国保の普及宣伝にも大いに意義あるものと考えるので，財政事情が許せば，葬祭費を増額するよう強く望みます。人数は，九十から百人の見込みです。

おわび

先号の本紙三面「人」欄中婚姻の（市来敬太郎は（市来　昌男の市来　敬発は（市来チヨ子の誤記でした。ここに謹しんでおわび申しあげるとともに訂正させていただきます。

お礼

町外で御活躍の次の方々から広報編集の費用と新聞代をいただきました。紙上から厚く御礼申しあげます。

住所	出身氏名	金額
宮崎県	浜田　政太郎	五百円
福岡市	中浦　西本金次郎	一千円
宇都市	田之浦　山岡一嘉	百円